

平成 29 年 9 月 25 日

盛岡市議会議員 各位

盛岡市建設部長 古山 裕康  
盛岡市都市整備部長 船水 義一

## 市道上堂二丁目青山四丁目線の倒木後の対応について（報告）

### 【要旨】

平成 29 年 9 月 18 日に発生した市道上堂二丁目青山四丁目線の倒木について、原因とその後の対応方針について報告いたします。

### 1 倒木の原因について

倒木の原因について専門家である樹木医に状況を確認していただいたところ、きのこの一種であるベッコウ茸が根元に発生したことにより、幹が脆弱化したものとのことでした。こうした状況は、外観からは判らないほか、テストハンマーでも判らないとのことでした。正確な状態を把握するためには、専門業者により、幹の四方から穴をあけて調査する方法しかないとのことでした。

一方、注意点としては、「枝が枯れている」、「幹にきのこが生えている」、「幹の皮が剥けている」樹木は、病気などで弱っている状況であるとのことでした。

また、街路樹全体的に樹高が高く枝が密集しており、風に対する抵抗が大きく根元に大きな力が働き、倒木に繋がり易いという指摘がありました。

### 2 当面の対応について

- ・ 5 月と今回の倒木のあった国道 4 号～JR アンダーパスまでの区間について伐採、剪定等の対応を行うこととしました。
- ・ 伐採については、木賊川横断函渠上の根の浅い樹木を中心に 4 本実施します。
- ・ 剪定については、専門家のアドバイスにより、樹高の 1/3 程度の剪定や枝の間引きを実施します。
- ・ 実施のスケジュールは、夜間作業にて 9 月 28 日に着手し 10 月中旬に完了予定です。
- ・ 作業完了までの間は、近接目視点検によるパトロールを毎日実施するほか、強風警報等が発令された場合は、警察と協議しながら通行止めの対応を検討します。

### 3 今後の対応について

- ・ JR アンダーパスから運動公園の区間については、樹高が比較的低いこと、落葉により風の抵抗も少なくなることから、倒木の危険性が低いと判断し、伐採、剪定は、葉が出てくる 30 年 4 月末を目途に実施することとします。
- ・ 実施にあたっては、両部で連携しながら、専門家から頂いたアドバイスを参考に再度調査を行い、伐採する樹木や樹高の剪定等を行う樹木を確認いたします。

〔担当：道路管理課長 近藤春彦 内線 2710〕